

令和元年度 第3回大口町保育所運営委員会 会議録

開催日時	令和2年2月17日（月） 13時30分～15時00分から
開催場所	健康文化センター 機能回復訓練室
出席者名	<p>議会議員代表 3名 民生委員・児童委員代表 3名 私立保育園法人代表 1名 保護者代表 8名 事務局 9名</p>
次 第	<p>1 委員長挨拶</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 令和元年度保育所運営の報告について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 各園の報告（保育長、園長及び父母の会会長より）</p> <p style="padding-left: 40px;">(ア) 全体報告（保育長）</p> <p style="padding-left: 40px;">(イ) 各園活動報告（各園長）</p> <p style="padding-left: 60px;">南保→西保→北保→大口中保（資料1-①、②、③、④）</p> <p style="padding-left: 40px;">(ウ) 父母の会活動報告（各園父母の会会長）</p> <p style="padding-left: 60px;">南保→西保→北保→大口中保（資料2-①、②、③、④）</p> <p>(2) 令和2年度保育所運営について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 令和2年度保育園園児数について（資料3）</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 年間事業計画について「ことしのあゆみ」（資料4）</p> <p>(3) その他</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 西保育園増改築工事について（資料5）</p> <p>3 その他</p>

（進行：福祉こども課長）

委員長	1 委員長挨拶
-----	---------

(進行：委員長)

保育長	(1) 令和元年度保育所運営の報告について ア 各園の報告
保育長	(ア) 全体報告 ・新型コロナウイルスについて大きな問題となっている。保育園としては、マスク着用を含む咳エチケット、石鹼やアルコール消毒液による手洗いといった感染予防対策の徹底、湖北省や浙江省から帰国された方については、14日間登園を控えていただいている。実際に中国に帰っている方で湖北省や浙江省ではないが保護者の方から収まるまで帰国しないと連絡を受けている保育園もある。今後も情報収集しながら感染予防対策に努めていく。 ・5月の大津の散歩中における交通事故発生によって、今まで以上に子どもたちの安全を守るという意識を高くもち、保育に取り組んでいる。特に交通安全の面では、散歩ルートを再点検して、危険と感じる箇所についてはその道を通ることに対して必要かどうか、また、道路管理者である町職員と江南警察署員と一緒に点検を行い、直すところは計画的に行うように進めている。例えば、北保育園南側歩行部分をカラー舗装で明示にする、南保育園周辺でガードパイプを少し伸ばすなど、そういった計画も進んでいる。 ・給食面においては保育所におけるアレルギー対応ガイドラインの改訂(2019年4月)に伴い、保育所におけるアレルギー対応の基本原則に基づいた考え方「除去食において、より厳しい除去が必要なもの」となり、「つなぎ程度は大丈夫である」という除去の仕方はなくなり、完全除去か解除かという基準になった。アレルギー除去食に関連する確認書類が今度の4月より変更し、今まで以上に子どもたちの安全を守っていききたい。
南保育園 園長	(イ) 各園活動報告(各園長) ＜南保育園＞資料 No. 1－① ・南保育園は周りを豊かな自然に囲まれた環境に恵まれた園であり、こうした環境の中「思いやり・優しさ・社会性」が身に付くことができるよう、主に「郷土を愛する心を育む」「地域の人との関わりを深める」「人や物を大切に作る心を育む」活動に取り組んできた。 ・「郷土を愛する心を育む活動」を通して、自分たちの町のことを知り、愛着をもって成長し、郷土愛の芽を育ていこうと保育目標を掲げている。 ・「裁断橋物語」や「長松寺の汗かき地藏」について学び、実際に現地にも行った。今年は、年中児祖父母交流会でも「裁断橋物語」や「堀江吉晴や松江城」について祖父母と一緒に学んだ後、年中児は祖父母と一緒に「八剣社」や「堀尾跡公園」に出掛けた。遠くに住んでみえる祖父母の方からは、孫の

<p>西保育園 園長</p>	<p>住んでいる地域のことを知ることができて勉強になった。また、近くに住んでみえる方からは、一緒に学ぶことができ共通の話題ができたとの嬉しい感想が聞かれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、様々な自然災害に対しての危機管理が問われている中、「秋田さわやかクラブ」の方々と交流をもつ中で、園内で行っている避難訓練に参加していただいた。地震・火災の避難方法についてみんなで話を聞いて確認した後に、第1避難場所から第2避難場所、そして地域の避難場所である南小学校正門まで一緒に避難した。また、0、1歳児の子どもたちを避難車や乳母車に乗せ、2、3歳児の子と手を繋いで南小学校まで避難するのは保育士だけの力では心もとない所もあり、避難車（乳母車）を地域の方に押ししていただいた。今後もお力を貸して頂き、お願いできればと考えている。 ・木育の「MOTTAINAI 工房」は廃材や自然物を活用し、想像力を働かせて見立てをする遊びであり①素材を机から5つまで選ぶ（想像力が育まれる）②友達の作品を認める、否定しない（友達に認められることで自信がもてる）③使った素材を机に戻す、ケアする（次に使う人のことを考え、人を気遣う）のルールのもと楽しんでいる。また、廃材に命を吹き込むことで、不要と思われていた物が宝物に変わり、遊びを通して人や物を大切にする心が育まれる。 <p>こうしてできた作品は、掲示して地域の方や保護者にも見てもらっている。「子どもの発想は面白いね」という感想が多く聞かれている。南小学校の児童が「町探検」に来た時や「公開体操教室」を見にみえた保護者の方、年少児祖父母の方と園児が一緒に行った「MOTTAINAI 工房」は、小学生も保護者も祖父母もどの年齢の方も和気あいあいと楽しんでいる様子が印象的だった。また、作品は地域の方にも見ていただけるように園舎東側の道路側フェンスに掲示して感想ノートを置き、地域の方にも保育園の取り組みを見ていただいている。</p> <p>幼いうちから自分たちの町や地域のことを知り、子どもたちが自分の住んでいる所が大好きだと思って成長できるよう地域の方と連携を取りながら南保育園ならではの活動の輪を深めていきたいと思う。</p> <p><西保育園>資料 No. 1-②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、園舎の増改築工事の為、戸外に出て体を動かす機会が減ってしまったが、遊戯室を使って様々な運動遊具を使った遊びや体幹を鍛える運動をしたり、天気の良い日は余野中央公園や白山ふれあい公園に出かけ、開放感を味わいながら全身を使って遊べる経験をした。 ・3歳未満児は、近接する歩道橋の上り下りをしたり、玄関先の小スペース
--------------------	--

北保育園
園長

を利用して遊んだり積極的に戸外に出る機会を設けた。

- ・各年齢に応じた、繰り返しの遊び、保育士の仕掛けや子どもたちの変化を見逃がさず、褒めることが体力づくりへつながっていくことを実感した。
- ・今年度も地域の方との交流を楽しむ、地域に親しみをもつことを目指した。食育サポートの方々との交流では食育の一環として、野菜作りをしながら、世代間交流を楽しむ事を目的に進めた。栽培・収穫体験、そして工事の期間中は、ふれあい交流会を何度か設けた。
- ・今年度も民生委員さん、余野地区の皆様、地域の老人会など、地域の方々との交流があった。また、大口町に伝わる「山姥物語」や「徳林寺」についても話を聞いたり出かけたりすることで、地域を知る機会がもてた。このような地域の行事に参加したり、保育園に来ていただき交流できることが、子どもたちの楽しみの一つになっている。
- ・園での活動を子どもたちから保護者、そして地域へと伝えるよう発信しながら、子どもたちを真ん中においたまちづくりを目指している。

<北保育園>資料 No. 1 - ③

- ・北保育園の園庭に固定遊具はありませんが、移動式鉄棒、平均台、体操など様々な遊びを行いながら、各年次が課題をもって体力作りに取り組んでいる。芝生園庭では、リレー、鬼ごっこ、縄跳び、フラフープ跳び、ドッジボール、サッカーなど走ったり跳んだりする全身運動を行い、筋力や体力を高めている。
- ・広い回廊や室内でも、雑巾がけ、手押し車、タオルを使っての遊びなど「握ること」「腕にギュッと力を入れること」など固定遊具がない分、手や腕を使う遊びも意識して取り入れるようにしている。体操教室で指導していただいた柔軟性、バランス、瞬発性などを養う運動も遊びの中で取り入れ、子どもたちの体力増進を図っている。
- ・今年度も北保育園ふれあい交流会の方と一緒に園舎の油拭きを計4回（4、7、11、2月）に行った。地域の方が交代で来てくださり「回廊の敷居と外段差」「回廊の床」「南回廊の柱、床」「遊戯室・保育室の床」にエゴマ油、亜麻仁油を塗り木材の保護をすることができた。また、芝生園庭の草取りや芝刈りも一緒に行った。
- ・園の行事などに地域の方を招待し、園児と触れ合ったり遊んだりする交流も行った。地域の皆様の活動や交流の様子を保護者にも発信し、保護者・地域の皆様・保育園とで「子どもを真ん中においたまちづくり」を目指していきたいと思っている。
- ・今年度、主体性を育む保育「自分で判断して行動できる力」を身に付けて

<p>大口中保育園 園長</p>	<p>いくために、子どもたちの意欲や興味関心を大切にして、子どもが自ら動き、夢中になって遊び込むことができるような環境作りに取り組んだ。</p> <p>「子どもたち一人一人をよく見ること」「子どもとの対話を心がけること」を大切にしながら、遊びのコーナーを整えた。3歳以上児の保育室は、可動式のロッカーを使って製作コーナー、ままごとコーナー、絵本コーナーなど子どもたちの遊びや興味関心などに応じて室内を整えることで、子どもたちはワクワクし、“今日これをやりたい”という思いで、自ら遊びを選択し、やりたい遊びにじっくり取り組むことができ、満足感や達成感を味わうことができた。また、作ったり描いたりすることが大好きな子どもたちの思いを受け止め環境を整えていくことで、ままごと遊びでは『テレビ作りたい』ごっこあそびでは『おばけやしきをやりたい』など遊びがどんどん広がり、クラス全体での楽しさにつながったり、“招待状”を作って他のクラスを「おばけやしき」に招待するなど園全体で共有できる遊びにもなっていました。「みんなで作り上げる」「最後までやり遂げる」経験が自信や意欲につながってきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがやりたい遊びを夢中になって遊び込んでいる姿は、生き生きとした表情に表れている。これが主体性を育み、子どもたちの生きる力につながっていくよう、今後も一人一人の子どもを大切にする保育を行っていききたいと思う。 <p><大口中保育園>資料 No. 1-④</p> <ul style="list-style-type: none"> 各年次、月1回～2回程度、専門指導員による体操・運動遊び（跳び箱鉄棒・マット運動など）を中心に体操教室を行っている。一人一人にあった目標を立て、保育士にアドバイスをいただきながら取り組んでいる。 体力作りと自然を楽しむことを兼ねて、どの年次も頻繁に散歩に出かけている。 未満児室では室内でも跳び箱やマットを利用して全身を使った遊びができるよう工夫しながら楽しんでいる。 異年齢児の取り組みでは、いろんな遊具を並べてコースを作り、グルグル回るサーキット遊びを行っている。朝のサーキット遊びを全年次で行う中で、年齢関係なくお互いに刺激を受けたり、憧れたり、頑張っている子を応援するなど、様々な良い関係が築けている。 お店屋さんごっこでは、年長児のお店に年中児のお客さんがお買い物にきてくれた。年長児のお店で買い物経験をしたことで、自分たちも年少児を相手にお店やさんをしたと準備をする行動につながっていった。また実際
----------------------	--

にお店の方にも協力してもらい買い物に出かけた。保育園近くのドラッグストア「もみじやさん」、アピタではクッキングで使うフルーツを自分たちで種類を決め、買い物に行った。その経験を活かし、その後のお店やさんごっこではどんなお店にするのか、材料を何にするのか、子どものアイデアを基に方向性を決め進めた。保育士からの声かけや手伝いもできるだけ行わずに子ども同士の話し合いを促しながら取り組めるよう環境を整えている。大人には予想もつかないアイデアが生まれた。

- ・ハロウィンパーティーでは、年長・年中・年少と3人グループで各保育室を周り、クイズやゲームを楽しんだ。異年齢が共に遊ぶ中で、年少児は年長児を頼ったり、真似をして遊んだりする姿が見られ、年長児は年長者としての自覚をもち、世話をしたり、喜んで関り合おうとする姿が自然と見られるようになった。
- ・食育の活動では、地域の方との交流で「城址の共」の方々との野菜作りや収穫した野菜を使ってのおやつクッキング・季節行事などでの交流を続けている。今年度も民生委員の渡辺さんのご厚意により、田植え・稲刈りの体験をさせていただき、稲の生長、お米の籾を身近に見ることができた。
- ・和菓子作りにも挑戦した。日本の文化に触れ、和菓子の形や材料などにも興味をもつきっかけになればと年長・年中児対象に計画した。和菓子の先生に教わりながら、中に入れるあんを丸め、優しく生地で包む真剣な様子が見られた。
- ・昨年11月に町長、議員と共に、桜の木の植樹を行った。花や野菜の生長と違い目に見えて大きくならない苗を見て、絵本や図鑑などで調べたりして、関心が高まっている。散歩に出かける度、生長を楽しみにしていて、これから大きくなってもこの木を見る度に思い出の木として愛着をもって見守っていくのではないかと思う。園内だけでなく、園外でも今後の楽しみとして関心がもてるきっかけをいただけて良い経験をさせていただけた。保育園で過ごしている時期だけでなく、その後につながる経験(自分たちが住んでいる大口町に関心がもてる経験など)も増やしていけたらと思う。
- ・自主事業として一時預かりを行っている。就労・リフレッシュ・就職活動など今年度も多くの利用があった。
- ・今年度も保護者の方からアンケートにより貴重な意見、感想などをいただいた。その内容をしっかりと理解し対応しながら今後も大口中保育園の特色を大切にしつつ、子どもたちの健やかな成長と保護者の皆様からの安心感・信頼感を大切に取り組んでいきたいと思う。

○確認、質問等

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでは写真ではなく文章での説明だった記憶があるが、今年はどうして写真を使った説明になったのか？
保育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は写真を使ったが、文章での説明やプロジェクターを使った年もあった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園長先生の説明に加え、写真を使っでの説明だったので 4 園とも様子が良く伝わった。安全面においてもますます強化していくことが大事なことだと思った。保護者や地域の方、祖父母にもいろいろな面で支えていただき、大事な役割を担っていると感じたのでこれからも保育の現場で取り入れられるといいなと感じた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南保育園の発表にあった「MOTTAINAI 工房」は園の事業であるのか？
南保育園 園長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町立保育園の職員は木育について勉強している。自然の命・人間の命など生きている物にはみんな命があるということを研修を通して学んでいる。使わなくなった物にも命があり、それを大切にしながら遊びにつなげている。遊戯室や各部屋で行っており、子どもたちが自由に行えるよう環境を整えてある。年長児は家から使わなくなった素材を一つ持ってきて、それを使うこともあった。地域の方や祖父母などが来園された機会に、子どもたちとの交流の一つとして、一緒に楽しめる機会を設けている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ アレルギー対応は大口中保育園も町立保育園と同じように力を入れて取り組んでいるのかどうか？
大口中保育 園園長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。保護者、調理員、職員とで連携を取りながら一人一人に合わせて書類も作成している。研修も町立保育園と一緒に参加して、職員一人一人意識を高くもって取り組んでいる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北保育園は芝生園庭で、工夫をしながら体力作りに取り組んでいるが、その反面、体力的に恵まれない子どもにとっては、どのような対応をしているのか？大口町の保育園にはそのような子どもがいるのかどうか？またいるならどのように対応しているのかお聞きしたい。
北保育園 園長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、足の不自由なお子さんが年少児にいる。ジャンプができないことからみんなと同じように縄跳びができないため、保育士と手をつないで一緒に

	<p>縄を跳び越えたり、かけっこはできないが、自分で走ってみようとする姿、頑張ろうとしている気持ちは大切にしている。友達とぶつかったりしないよう配慮は必要だが、その子の嬉しさや経験につながるような取り組みを行っている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・回廊の油拭きはどのくらいの時間がかかるものなのか？
北保育園 園長	<ul style="list-style-type: none"> ・北保育園ふれあい交流会の方たちは、何回か経験し、手慣れてきているため、1時間くらいで終わることができている。素早い作業で行ってくださり、とても助かっている。
南保育園 会長	<p>ウ) 父母の会活動報告 (各園父母の会会長)</p> <p><南保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バザー、お楽しみ会3回 (ALSOK、オイスカ、忍者体操) を行った。
西保育園 会長	<p><西保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は保育園工事の都合で例年と違うこともあった。 ・役員でTシャツをそろえて活動を行った。 ・バザー、イベント3回 (音楽コンサート、オイスカ、忍者体操) を行った。
北保育園 会長	<p><北保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント6回 (いちご狩り、ミスタードーナツ、江南警察による防犯警察、オイスカ、タフィーとパーティータイム、マクドナルド)
大口中保育 園会長	<p><大口中保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バザー、イベント6回 (『チューキョークン収録』、『ボイメン体操収録』、マンドリンアンサンブル四季、『ごかん！ろっかん！ロケンロール』踊り収録、動けレゴブロック収録、『ハローどっくん』紙芝居等、尾張太鼓によるミニコンサート)
委員	<p>○確認、質問等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口町としては、テレビが園内に入ることはよいのか？またどのように考えているのか？
保育長	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の問題で、園児の顔がテレビに映ることが各家庭において諸事情問題があり厳しい状況であると考え、町立保育園では控えさせていただい

大口中保育園園長	<p>ていた。大口中保育園ではその辺を配慮しているのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口中保育園では保護者の皆様に事前に掲示やホームページなどで許可をいただけるかを確認している。許可をいただけない方が見えた場合は控えようかと考えていたが、申し出がなかったためイベントを行った。
保育長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は新年度初めの役員会にて、検討していきたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・10年ほど前と比べると活動がすごく増えているように感じる。子どもたちのためにといろいろと考えてくださり素晴らしいことと思うが、仕事をもっている中での役員だと思う。だんだん父母の会のイベントが派手になっている印象なので、無理のないように次期役員の方に引き継いでいただけたらと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・北保育園のマクドナルドのイベントは具体的にどのような内容だったのか？
北保育園会長	<ul style="list-style-type: none"> ・食育、環境、防犯、交通安全の4つのテーマから選択をして決めた。マクドナルドのキャラクター「ドナルド」から、パネルを使って交通安全ルールについてわかりやすく教えてもらった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに面白く、わかりやすく教えてもらうことは良いことと思った。
保育長	<p>(2) 令和2年度年度保育所運営について</p> <p>ア 令和2年度保育園園児数について (資料3参照)</p> <p>南保育園 定員145名のところ、131名 西保育園については未満児保育室の増築により未満児定員を75名増やし、 西保育園 定員265名のところ、219名 北保育園 定員210名のところ、200名 大口中保育園 定員170名のところ、160名 4保育園総合計 定員790名のところ、710名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積基準や保育士配置基準を考慮しながら、柔軟な対応で行っている。大口中保育園においても同様となる。 <p>イ 年間事業計画について「ことしのあゆみ」(案) (資料5)</p>

<p>保育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の幼児向けの交通安全スローガン「しっかりと とまってかくにん おうだんほどう」家庭でも合言葉にしてもらい、交通安全に十分注意をしていただきたいと思います。 ・保育園の入園式については、小学校に準じて決めている。6日(月)が入学式になるため、保育園は4月3日(金)。卒園式については、例年3月28日だが日曜日となるため、3月26日(金)とする。
<p>保育長</p>	<p><令和2年度行事の変更事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の期間で調整がとりづらいため、7月下旬に行っていた人形劇鑑賞をやめることにした。夏祭りの取り組みやいろいろな活動、オイスカの森のつみ木広場や地元の郷土愛の活動など地域交流事業が入ってきているため、行事の見直しを行った。 5月 保育参観と年少児の試食会、 6月 3歳以上児音楽会 午前中、音楽会。午後、緊急時の引き渡し訓練を行う。緊急時の引き渡し訓練は、全園児対象で行う。メール配信を行い、園児の引き渡し訓練を行う。 10月3日(土) 秋の運動会 10月 3歳未満児保育参観 12月5日(土) 生活発表会(3歳以上児対象) 2月 保育参観 3月26日(金) 卒園式 <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日保育の実施園は、町立保育園の園児は北保育園にて実施。休日保育についても同様である。
<p>委員</p>	<p>○事務局からの説明に対する、意見・質問等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児と3歳以上児に区切りをつけて保育園での受け入れをするということだが、今のところ兄弟で保育園が離れることはあるのか？
<p>保育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・審査の結果、3歳未満児と3歳以上児の兄弟2組が別々の保育園に通うことが決まった。その方についてはこちらから電話連絡をして丁寧に対応させてもらった。必ずしも別々の保育園ということではなく、下のお子さんに合わせて入所であれば転園は可能であることを伝えた。2組の方については審査の結果通りの保育園で入所したいという希望を述べられた。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳以上児のお子さんは数年間その園で過ごしているため保育園を変わることは実際には難しい。親としても子どもにしても望ましいことではない。何か良い方法が今後あると良いですね。
保育長	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児は大きな行事はないため、行事の心配はないと思われるが登降園の送迎の問題はある。1組は近くに住んでいる祖父母に送迎を頼めるとのこと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・江南警察署管内での交通事故が多い。保育園を卒園し小学校へ入学する時にも気を付けて歩くことができる。素晴らしいスローガンだと思う。
西保育園 園長	<p>(3) その他</p> <p>ア 西保育園増改築工事について (資料5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず初めに遊具、ケヤキの撤去から始まった。大きな工事作業車が園庭に入っていたので、大興奮の子どもたちだった。間近で重機が動く様子を見たり、作業の様子が見えたり、貴重な体験になっている。歩道橋からは、園全体がよく見える。変わりゆく園庭や建物が出来上がっていく中で「木のにおい」に気付き、作業の音を感じるなど、五感で感じて工事の様子を見ている。 ・西保育園建設だよりを定期的に発行し、工事の進捗状況を発信したり、行事等で保護者や地域の方が来園された際には、場を設けて情報発信していくことで、皆様、熱心に耳を傾けてくれた。 <p>子どもたちは、工事の様子を何度か間近で見たり、毎日保育室から見ている中で、自然と工事作業員の方へ感謝の気持ちがもてるようになった。作業の様子を絵に描いたり、「がんばってー」「屋根から落ちないでね」など声を掛ける姿も見られた。そんな子どもたちの思いを汲み取って作業員の方々へ感謝の気持ちを届けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づいて、評価結果と意見、今後の方向性についての説明。
委員	<p>○確認、質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定通り増改築工事は進んでいるということで良いか？
福祉こども 課長	<ul style="list-style-type: none"> ・3月3日が完成日となっている。調理室は4月末で後期となり、少しずつれるが、順調に工事は進んでいる。議員さんには議会終了後ご覧いただきたく思っている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみにしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭について、北保育園のように西保育園も芝生園庭がよいと考える。現在、具体的な話がもち上がっているのかどうか？
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度予算では芝を張るための予算要求はしているところである。北保育園の園庭より少し狭いが今のところ張る予定で考えている。
保育長	<p>3 その他</p> <p>○4園の未満児の保育運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで未満児保育は0, 1, 2歳児共に1クラスで保育していたが、西保育園の未満児室増築にあたり2歳児2クラス、1歳児2～3クラスと複数クラスとなってくる。子どもたちや保護者にわかりやすく、子どもの安全面を考えて、3歳以上児と同じ考えで進めていきたいと考えている。 ・クラス名は0歳児をこあら組、1歳児をひよこ組、2歳児をあひる組とする。3歳児以上児は今までと変わらない。名札についてはクラスで色分けをしてわかりやすくしていく。2歳児は緑・白、1歳児は黄・青・赤、0歳児は桃として、名札の形をひよこ型にしていく。3歳以上児は今まで通りチューリップ型の名札を使用し、形で分けていく。1クラスの保育園の名札は2歳児は緑、1歳児は黄、0歳児は桃とする。 ・3歳未満児のカラー帽子はオレンジ色だったが、100人近い園児が同じ色の帽子をかぶっていることは保育士もわかりにくく、安全面を考えて、令和2年度より学年色に変更していく。今までは3歳未満児から3歳児以上にあがる時、帽子の色が変わるため、新たに購入してもらっていたが、入所した時の色がそのまま使えるようにしていきたいと考えている。3歳以上児は今まで赤、青、黄の3色で回していたが、3歳未満児の色が加わり6色のカラーでローテーションを考えている。頭囲のサイズによる変更もでき、保護者の負担が少なくなるように進めていく。在園児に関しては、移行期間を設けながら進めていく。色の決定はもう少し時間をいただきたいと考えている。カラー帽子に関しては大口中保育園も同じ考えだが、名札については保育園の特色を出していく。そのため名札の色・形が町立保育園とは違ってくるが、ご理解をいただきたいと思う。 <p>○確認、質問</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児のカラー帽子は持ち回りで行っていくという理解でよろしいか？

<p>保育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大口中保育園の異年齢児保育の取り組みは、大口中保育園の保育理念を意識した取り組みなのか？それとも活動の一つとしての取り組みなのか？
<p>大口中保育園園長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には各年次のクラスがある。今までは年長が年少の世話をするためにあえてその時間を設けていたが、年長の活動や遊びをとめてしまうこともあった。自由遊びの中で年長児が年少クラスへ行ったり、年少児が年長クラスへ遊びに行ったりしながら自然な形での交流の方が子どもたちの自主的な気持ちが芽生えるということで遊びの時間の中で交流をしている。運動遊びに関しては保育士が教えるのではなく、年長児に対してあこがれの気持ちを持ち「自分もやりたい」という思いを大切にしている。そして集中力・やる気から、子どもたちの行動が変わるということが分かったので、時間を設けて行っている。 <p>閉会の挨拶</p>